

# KGAニュース

KGA (KUIS Global Ambassador) は1月6日にオンライン交流会を実施しました。当日はKUIS生4人、協定校生6人が参加し、コロナ禍でクリスマスやお正月をどのように過ごしたのかを話し合いました。そこで話したことを皆さんに共有するので、文化を学び、楽しんでいただければ幸いです。

参加者の  
皆さん



## Mexico

<クリスマス・お正月の過ごし方>

- ・街がロックダウンしているから家で家族と過ごした
- ・オンラインでゲーム
- ・パーティー（例年は親戚を集めてみんなでディナーをするが、今年は小規模に）
- ・15歳のお祝いをする。女の子だけが盛大なパーティーをする
- ・1月6日はメキシコの伝統的な行事があってリースのようなパンを食べる

<コロナ禍での過ごし方>

- ・アニメーションの授業で評価を受けるのは難しい
- ・卒業式も最初の学期も学校に行けなかったから大学に行きたい
- ・友達にも会えずに変な気分
- ・バスケット部だけど、大学にも行っていないから部活も全然出来ない

## Japan

<クリスマス・お正月の過ごし方>

- ・毎年神社に行っていたけれど、今年は諦めた
- ・振袖を着て前撮りを行った。でも今年の成人式は中止になった
- ・書き初めをした
- ・神社に行っておみくじをひいた
- ・実家から餅が送られてきた
- ・家族とスキー旅行

<コロナ禍での過ごし方>

- ・実家から授業を受けている
- ・大学にも行けないし、友達にも会えない

ありがとう!  
¡Gracias!

# 1月6日は三賢者の日 「el día de los Reyes Magos」

メキシコでは国民のほとんどがカトリックということもあり、クリスマスを盛大にお祝いします。

12月初旬から始まり、1月6日に終わります。そして、1月6日に「Rosca de Reyes」と呼ばれる真ん中に穴のあいたパンを食べることが伝統です。

実は、パンには仕掛けがあり、パンの中にプラスチックでできた小さい赤ちゃんのキリストの人形が隠れているのです。食べているときに、この人形に当たった人は2月に「Tamales」というメキシコ料理を作って皆にご馳走しなければなりません。



## キンセアニエーラ 「quinceañera」 またはキンセアニヨス 「quince años」

日本では1月11日に成人の日があり、成人のお祝いをしますよね。

メキシコでは、女の子の15歳のお誕生日を盛大にお祝いする習慣があります。

それが、キンセアニエーラ (quinceañera) または、キンセアニヨス (quince años) と呼ばれるものです。

現在、メキシコでの成人年齢は18歳ですが、かつて15歳になると結婚できるようになり、大人の仲間入りだとされていたことが、現在でも名残を留めています。

この日は、家族で教会に行く、ドレスを着る、パーティーを開く、父親や友人とダンスを踊る、など盛大にお祝いするのが伝統です。



# オンライン交流会実施報告

私たちKGAは、日本に住むKUIS生とKUISと繋がりのある協定校の生徒が参加したオンライン交流会を企画・運営・実施をしました。

2020年11月26日に開催した第一回目の交流会では、アジアの協定校生を対象にし、KUIS生10名、台湾と韓国からそれぞれ1名が参加し計12名での開催となりました。テーマをCOVID-19に設定し、コロナ禍でどのように過ごしているか、日常生活はどう変化したのかを日本語、英語を使って話し合いました。また、協定校生を当初予定していた数だけ集められなかったのは、募集期間が短かったからではないか、という反省点が挙がりました。

この経験を踏まえて、2021年1月6日に開催した第二回目の交流会では、北米・メキシコの大学を中心に募集しました。夕方であれば参加しやすいのではないかと考え、日本と時差の大きい地域を選びました。また、三週間前から募集をかけました。結果として、協定校生20名とKUIS生6名が参加を希望してくれました。一回目と違い、協定校の生徒が多く集まったことで、参加者同士でより活発な話し合いが出来ました。また、ディスカッションの前に、クリスマスやお正月など冬休み期間の写真を用意してもらい、1分程度、それぞれが紹介し合いました。これにより、メンバー同士の距離も縮まり、質問が飛び交うようになり、互いの文化についてより詳細に知ることが出来ました。アンケートでも、参加者全員から、イベントに満足した、との回答が得られました。

## 第一回目

日にち：2020年11月26日（木）

日本時間：12:20~14:40

協定校：韓国、台湾

### 当日の活動内容

1. コロナウイルスや日本で流行っている言葉の紹介（三密、エモい、それな、ワンチャン、ぴえん etc）
2. 20分間のブレイクアウトセッションでディスカッション
3. メンバー（協定校生）を変更して、更に20分間のディスカッション
4. アンケートに回答してもらい、終了

## 第二回目

日にち：2021年1月6日（水）

日本時間：10:40~12:20

協定校：アメリカ、カナダ、メキシコ

### 当日の活動内容

1. コロナウイルスやクリスマス、お正月に関する言葉の紹介（おうち時間、ソーシャルディスタンス、メリクリ、あけおめ etc）
2. ブレイクアウトセッションで、**各自が写真やパワーポイントを共有し**、一人1分程度で冬休みをどう過ごしたかを紹介
3. 残りの時間の前半10分を英語、後半10分を日本語でディスカッション
4. メンバーを変えて、同じ様にディスカッション
5. アンケートに回答してもらい、終了

## 活動を終えて

学生が自ら企画し、国際戦略部の方の助けを得ながらも、自分たちがやりたいと思うイベントの開催は、思ったよりも大変でした。

特に、グループメンバーとのやり取りです。コロナウイルスの感染が拡大していたため、一度も会うことはなく、メンバーとのやり取りは、全てネットを通して行われました。相手にきちんと伝わっているのか、情報共有が出来ているのかを確認するのが難しかったです。情報共有がきちんとされていることを確認するために、全ての情報は、その作業を担当する個人個人に送っていましたが、メンバー全員が見られるように共有しました。

オンラインだからネットを介せばいつでも連絡を取ることが出来る一方で、連絡を無視することも出来る。

インターネットを通して通じることの難しさを今回のイベントで実感しました。

## 最後に

KGAが開催したオンライン交流会に参加して下さった皆さん、参加して下さり、ありがとうございました。

私たちにとっても初の試みで、至らない点も沢山あったと思います。それでも、皆さんがコロナ禍でも協定校の生徒と関わりを持ち、英語を介して新たな文化に触れられたのであれば、嬉しく思います。

また、最後になりましたが、コロナ禍で留学はおろか、大学に行って協定校の生徒と関わる機会も無くなった中、このような機会を与えて下さり、お力添えをいただきました国際戦略部の皆さまにも、重ねて御礼申し上げます。